

●国際ロータリーテーマ



# SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

## 塩梅よく

会長 小部 隆充  
幹事 大橋 良史

### ●本日の例会

●R I 第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を！』

点 鐘 12:30~  
四つのテスト  
会長の時間  
幹事報告等  
結婚・誕生・勤続表彰  
定例理事会

●第2717回 平成27年 8月 7日(金)

◆8月14日は、休会

### 卓話「実践的な会員増強」

福井南ロータリークラブ所属 田 中 文 夫 氏

### ▼第2716回例会報告

2015年7月24日 ▼鯖江商工会館 4階 大ホール 出席率 93.3%(出席者数 28名)

## 国際ロータリー第2650地区 中澤忠嗣 ガバナー公式訪問



玄関で中澤忠嗣ガバナー一行を迎える当クラブ役員、理事

### 会長の時間

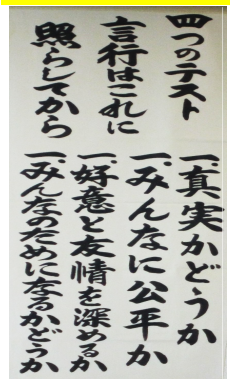


小部 隆充 会長

今日は、第2650地区、2015-2016年度のガバナー公式訪問。お客様を紹介する。最初に中澤忠嗣ガバナー。次に、小林哲夫副幹事長。若林智幸青少年奉仕担当副幹事。3方は、何れも京都南RC所属。最後に、先週のアセンブリーと、引き続きお世話になる林田恒正ガバナー補佐。丸岡RC所属。一行は、10時3分にサンダーバード5号で来鯖。4人もめがねをかけていることもあり、めがねミュージアムを案内。11時から、当会館2階で会長・幹事懇談会をお願いし、例会に迎えた。当クラブ員一同、心より歓迎申し上げます。中澤ガバナーには、後ほど、ガバナーアドレスを贈る。よろしくお願ひしたい。



### 四つのテスト



### 君が代 奉仕の理想

佐野 直美 ソングリーダー



### 誕生祝・勤続バッチ贈呈



中澤ガバナー(右から2人目)と7月誕生日を迎えた(右から)齋藤多久馬・小林文雄・田中敏幸・佐野直美4会員

同じく勤続バッチを贈呈された川手博明会員

### ニコニコBOX報告



感謝し報告する  
岡本圭子委員長

(敬称略・順不同)

- 1 ガバナー 中澤 忠嗣
- 1 ガバナー補佐 林田 恒正
- 1 副幹事長 小林 哲夫
- 1 青年奉仕担当副幹事 若林 智幸
- 2 小部 隆充
- 2 大橋 良史
- 2 園 幸雄
- 2 窪田 健一
- 2 深見 泰和
- 2 野中 敏昭
- 2 清水 康弘
- 2 小淵 洋治
- 2 牧野 友美
- 2 齋藤多久馬
- 2 木村 明
- 2 孝久 治宏
- 2 木村 英富
- 2 大島 恒彦
- 2 堀江 邦旺
- 2 幸道 森市
- 2 川手 博明
- 2 吉田 俊博
- 2 帰山 明朗
- 2 田村 康夫
- 2 下村 義孝
- 2 佐野 直美
- 3 田中 敏幸
- 3 小林 文雄
- 3 酒井 雅憲
- 4 岡本 圭子
- 5 酒井 芳則



### 幹事報告



大橋 良史 幹事

今朝よりガバナーをお迎えする事で、お世話になった。また、ようこそいらっしゃいました。報告事項だが、昨年度の米山功労クラブ表彰を広域財団法人米山基金奨学会より、受けた。同じく、夏の交通安全県民運動が7月21日~30日まで、始まった。本年も、7月21日(火)18~19時まで、ホームセンターみつわ鯖江店の交差点にて、当クラブも街頭指導に参加。小部会長と帰山副幹事、幹事の橋の3名が参加。(写真右)この後の予定は、13時からガバナーアドレスと記念撮影。続いて、13時45分から理事、役員、各委員長においては、2階役員会室にて、クラブ協議会。移動をお願いしたい。明日のやっしまつりは、16時30分、西山公園に集合願ひたい。浴衣は、事務局にて準備している。



- 1: お祝
- 2: 中澤忠嗣ガバナー御一行をお迎えて
- 3: 2・誕生祝を頂いて
- 4: 2・文科大臣の国登録有形文化財答申を受けて
- 5: 2・7/25会員皆様のやっしまつり参加を願って

# ガバナーアドレス

国際ロータリー第2650地区ガバナー 中澤 忠嗣 様



先ほど、私の大好きなめがねのミュージアムを案内願った。めがねは、顔の中で一番目立ち、どうしても必要なもの。解説や説明、商品が素晴らしく、時間がかかってしまった。

本クラブは、伝統あることが、資料から解る。当会場玄関で、穏やかな顔で出迎え願った際も、優雅さとゆとりを感じた。

R I のK.R. ラビンドラン会長は、スリランカのロンボRC所属。ロータリアン3世として、21才でRCに入会。ずっと、R I の頂点を目指していた。ティーバッグの包装や袋、包装したものの袋を考え、世界トップのパッケージとして評価を得ている。

私たちのRCの基本を思い出してほしい。RCは、R I の会員ではない。RCは、R I の一員である。R I は、世界で200を超える国と地域。そして、地区数は536。クラブ数は、34,800。会員数は、120万会員。100年前にでき、世界に120万人会員。

RCは、その会員であるロータリアンによって、構成されている世界の組織。RCは、標準RC定款を採用しなければならない。標準RCの定款は、すべてのクラブが、R I 定款と細則の規定に矛盾しない細則を採択することを義務付けられている。この細則はさすがである。この定款と細則を見直し、運営している。

世界を意識して、我々のクラブは、そういうクラブなんだと、もう一度頭に入れてほしい。最近これが薄れてきた。世界観をしっかりと、大切にしてほしい。

2015年1月理事会で、地区について、次のように決定された。地区の活動及びその組織は、個々のRCがロータリーの目的を推進するのを援助することに、唯一の存在目的とするものである。

つまり、地区組織、我々2650地区の私の組織は、各クラブが活動しやすいように、お手伝いする組織である。地区は、それぞれのクラブに「あしなさい、こうしなさい」と申し上げる組織ではない。ある年度、あるいは数年前は、「地区が言っているからしよう」、「地区がこういうことを言っているから揃ってしよう」、そういう事はない。地区の仕事は、「それぞれのクラブのお手伝いをする」ことだけを今年度話している。従って、地区主催の事業はない。

R I の今年のテーマは、「世界へのプレゼントになろう」。英訳は、gift。テーマの1カ所だけを読むと、「結局のところ私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断される。苦しんでいる人から、目をそむけず、その苦しみを和らげてあげよう。同情の言葉を投げかけるだけでなく、実際に何かをしてあげよう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しよう」。この言葉が、今年度のR I の会長の考えである。そして、プレゼントをしようとなっている。そのことを理解してほしい。イメージは、地球儀。気づいているかもしれないが、日本の出ている方向、丁度裏。私自身、とても喜んでいる地球儀である。

次に、今年度のR I 会長賞にエントリーする際の条件。必須項目は、2つ。

1. ロータリーセントラルに各クラブの情報を入力すること。
  2. 人頭分担当金は、期限までに納めること。
- 世界には、払っていないクラブもある。日本で、ファールしているところはない。そして、伝えたい、いくつかの項目がある。

1. 会員は、マイロータリーに登録してほしい。目標は、50%。いよいよ、I T 化の時代に入ってきた。
2. 会員増強と会員数の維持。  
戦略計画を必ず立案し、戦略的目標、計画、価値観を行動に移し、組織を大きくしてほしい。小さい組織では、奉仕に限界がある。  
親睦を通じて、高潔性を持って、倫理を守りながら、多様性を認め、奉仕し、このクラブをどうしようか考え、大きさも目標にしてほしい。
3. ポリオ撲滅は、最重要課題。
4. 財団への寄付。  
財団は、ロータリーのエンジン。今は、財団が立派な組織であることは、世界も認めている。安心してほしい。
5. 新世代、若者の囲い込みをしてほしい。RAC、インターアクト、ライラ等、青少年をたくさん育成したが、世界でRAC出身者の5%しか、ロータリアンになっていない。全部見失った。それぞれのクラブで、今までのあったことをもう一度整理して、そういう方たちともしっかりと交流を持ちながら、ロータリアンの良さを伝えてほしい。



例会で中澤忠嗣ガバナー一行と記念撮影する当クラブ会員

## 6. 公共イメージの向上。ロータリーロゴ、マークが変わった。

この6つは、エントリーすることではなく、R I は、こういうこと考え、はつきりした目標があるということである。

次にロータリー財団への寄付をお願いします。これは、地区の役目として、聞いてほしい。

- ・ロータリー財団への寄付 1会員 180ドル
- ・ポリオプラスへの寄付 1会員 2,000円
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 1会員 24,000円
- ・ロータリー希望の風奨学金への寄付 1会員 10,000円

を目標にしてほしい。  
次に、I T 化のお手伝いについて。大半のクラブにホームページアップがあるが、16クラブがまだ。97クラブにホームページがあっても、15クラブは更新ができていない。このお手伝いを考えている。

ロータリー希望の風10,000円については、北河原前ガバナーの力添えで、97クラブ、すべて寄付してくれた。金額に差はあるが、1地区で全クラブ寄付したのは、34地区あるうちで当地区だけである。これは、大変意義深いことである。残念ながら全国に広がっていない。

昨年度、我が地区で、1億4,500万円納めている。現状、あと3億円足りない。それを、7月1日のガバナー会で、34名のガバナーに言った。「皆さんも、いろいろな寄付が重なり、希望の風はもういい、十分やっているという考え方があるかもしれない。しかし、考えてほしい。ロータリーの希望の風は、孤児になった子供に月5万円支援。目標となる学校を卒業して、社会に還元してほしい。ロータリーに返すお金ではない。このようにスタートした事業だ、ということを理解願いたい。ロータリーが、子供たちに手形を切ってきた。お金がないので、ロータリーができないでは、おさまらない」ということを話した。

知らん顔している地区もあった。しかし、賛同してくれる地区も1つ2つ増えてきた。みな横並びでなくても、これでもいい。全国で8万8千人いるので、5千円出したら、全部これで終わる。次の新しい事が、考えられる。しかし、それができない。それが、今日のロータリーである。

すべてが同じ形というのは、無理な時代になってきた。世界中そうである。皆さん方も、四苦八苦して会員増強を目指している。統合も目指している。あるいは、一人ずつ増やし、10年たったら10に増える。でも、10年たったら、10人亡くなっているかもしれない。よほどの数字を積み重ねないと、一番多かった時の人数に到達しない。

今、全国で、地方は全部人口が減ってきていて、ロータリアンになってくれる年代、職業を持った方々の人数が減っているのが、現実。何かの手を打たなければならない。「いや、もういいよ。もう、ロータリーは、このままでいいよ」。皆の合意が、「このままでいい」ならそれでいい。簡単にやめられる。関東では、16のクラブが新しくできて、12クラブが1年間でなくなっている。

2650地区、滋賀で突然1つ消えた。この前聞いた話で、瞬間的に1人になったクラブがあった。5人いたうち2人が病気で出られなくなり、3人残った。そのうちの2人が「もういいか」と言った。そのうちの1人が退会。もう1人も退会。1人になった。その時、ガバナー補佐が、3人の友達を連れて、そのクラブに乗り込んで支えた。

これは美しく考えられるが、私は決してそうは考えない。R I は、そのことを目標としていない。もっと一緒に力を合わせてやってほしい。もっと寄ってほしい。この近辺のRC、あるいは親子関係は、どうでもよいので、小さなクラブでも、大きなクラブでも、それぞれ名前があるが、一緒にやること、そのことが大事である。そのために、合同の公式訪問をしてほしいと依頼した。

そして、世界ではこれだけ早く動いている。いろんなことが起きている。「皆さん知っておいてほしい」と言うのが、私の役目。それが12月末までかかる。12月末を超えたら、次の年度の人が行く。違うことを言う。「できるだけ人数を集めてほしい」と言ったつもりだが、あまり伝わらなかったようだ。今日まで来ている。

皆さんも「このクラブを100人にすることが本当にできるか」、一度議論してほしい。そして、そうでなかったら、仲間を増やし、遠くても仲のいいクラブと合同例会をやってみてほしい。足がかりにはなる。意外と30名が60名になる。大勢でご飯食べるのは美味しい。いろんな人に会える。RCは、1週間に1度、友達に会いに来ている。その基本をもう一度考えてほしい。世界は動いている。私たちは、もう少しこの事で意見を交わす場を設けてほしい。これが、ロータリーで最も急ぐ課題だと思う。もう一歩前に入る、前進する気持ちで、このクラブの運営をしてほしい。



## 会長・幹事 懇談会



同日、例会前の11時～12時20分まで、懇談会を開催。出席は、ガバナー一行と当クラブ正副会長、同幹事の8名。

同一行からは、「福井は最近、出席率の追及が緩い。国際ロータリーに準じているか。将来に向けて検討された戦略の有無等」の指摘と確認。

当クラブから、「R I の趣旨。会員数に応じた委員会数が可能か等」質問し、確認。有意義な懇談会となりました。

## クラブ協議会

同日例会後、同一行と当クラブ役員・理事・各委員長が出席し、同協議会を開催。各委員会の活動方針を説明。

最後に、ガバナーが、『「このクラブは何を目指しているのか」言葉でハッキリ言えるよう、整理した方がいい。無理してやる社会奉仕は、あとで行き詰まる。できることをまずやるのがクラブ活動』と講評。

質疑応答の後、閉会しました。



▲次回の例会 ▲第2718回 平成27年8月21日(金) 点鐘 12:30～